

昭島市教育委員会 殿

学校名 昭島市立玉川小学校
校長名 小瀬 和彦

令和8年度教育課程について (届)

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、個人と社会の Well-being の実現を図り、民主的で持続可能な社会を創るという理念の基、知・情・意・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指す。

- ◎精いっぱい学習する子 自ら学び考え判断し、協働して問題解決を図る子
- 人のためにつくす子 自らのよさを見つめ、他者を尊重し、共によりよく生きようとする子
- すすんで体をきたえる子 自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げる子
自らの心と体をきたえる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

昭島市教育振興基本計画に基づき、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、教育目標の実現を図り、自らの人生を舵取りできる力を育む。

ア 「精いっぱい学習する子」を育て、確かな学力の定着と伸長を図るために

- (ア) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、多様な人々と協働を促す教育の充実を図り、協働的問題解決能力を育成する。
- (イ) 問題解決的な学習や習得・活用・探究という学習プロセスの中で、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図り、多様な個性や特性、背景を有する児童と向き合い、多様性を包摂する教育を展開する。
- (ウ) 各教科等の特質を生かし、教科横断的な視点から指導計画の編成・実施・評価・改善を図ることにより、情報活用能力、読み解く力や問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成する。

イ 「人のためにつくす子」を育て、豊かな心を醸成するために

- (ア) 道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動、日本の伝統文化に触れる活動等を通して、創造性を涵養し、道徳性を養うとともに、教育相談体制の充実を通して健全育成を図る。
- (イ) 集団活動やボランティア活動、体験的活動を通して、多様な価値観に触れ、自分のよさを認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、納得解を生み出し、共によりよく生きようとする態度を養う。

ウ 「すすんで体をきたえる子」を育て、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するために

- (ア) 体育・健康に関する指導を、児童の発達段階を考慮して教育活動全体を通じて実施することにより、体力向上と健康の保持増進を図り、児童が自らすすんで課題を把握し、解決しようとする資質・能力を育成する。
- (イ) 食育の推進並びに安全に関する指導について、地域の関係機関・団体と連携・協働を図り適切な実施を通して、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活をおくるための基礎を培う。

エ 輝く未来に向かう資質・能力を育むために

- (ア) 昭島市民科(生活科・総合的な学習の時間)において、各教科(クロス・カリキュラム)及びSDGsと情報教育との関連を明確にしたカリキュラム・マネジメントにより、主権者教育を中核に探究的な見方や考え方を働かせ、グローバルに考え、ローカルに行動できる人材を育成する。
- (イ) 昭島市特別支援教育推進計画に基づき、授業観察等による通級指導の質的向上を図るとともに、校内委員会(SC・SSW)による情報共有と研修を強化し、「指導の個別化」と「学習の個性化」を推進する。
- (ウ) 就学支援シート及びスタートカリキュラムと昭島市民科との関連をキャリア教育の視点からカリキュラム・マネジメントを図り、自己のキャリア形成を推進できるようにする。

オ 学校力(チーム学校)を向上させ、信頼される学校づくりのために

- (ア) 学校経営グランドデザインや教育課程及び、その解説を公表(学校公開、ホームページ、説明会)するとともに、各種調査の分析結果及び改善点を報告・公表し、学校組織としての説明・結果責任を果たす。
- (イ) 2軸3類4層構造から組織を構築し、自殺、いじめ、不登校、事故の未然防止及び解消を図る。
- (ウ) 感染症防止対策の定期的な見直しや大規模災害発生時の対応等、学校危機事態を想定した防災教育等を実施し、事件・事故等への安全教育の充実を図る。